

平成 28 年度

事 業 計 画

社会福祉法人 原町成年寮

障害福祉サービス多機能型事業所

奥戸福祉館

【支援方針】

利用者一人一人に「働く」達成感が得られるよう活躍する場をたくさん提供し、工賃向上を目指す。

製造部は、パン製造の安定化と技術力や新商品の開発力、品質・衛生管理等、利益率の向上に努めていく。新しいオーブンを導入し工房のレイアウトを改め、よりよい作業環境を確立していく。

販売部は、南葛 SC とのコラボレーションにより、試合やイベント等で販売を行う。移動販売車の稼働率をあげるための営業、積極的な販売会の参加、周辺の保育園・学校・高齢者施設の販売開拓、近隣への定期購入の呼びかけを行い、また既存の販売先の売り上げ増に努める。接客マナーを身につけるため、外部の講師を招き実技を習得していく。

広報では、地域へのポスティングやブログ・Facebook の活用を積極的に行う。

地域交流として、閉館日に工房を開放してパン教室を企画し、障害者をもつ方を知ってもらうと同時に、利用者の仕事に対するやりがいにつなげていく。

営業や商品開発、食品に関する知識、販売戦略を研修等で学び、工賃向上に繋げていく。

できるだけ多くの作業工程や事務を利用者主体で行えるように工夫し、得意なことを生かせるように作業配置を工夫して提供していく。大入り袋を支給し、売り上げに対する意識を高める。高齢の利用者も多く所属しているが、働きがいを感じてもらえるよう、又若い利用者には働くことへの意識向上を図り「働く場」作りをしていく。

衛生面では、定期清掃、手洗いと靴の履き替え、白衣、爪、健康状態の毎朝のチェックを行う。また販路拡大に伴い、消費者への安心を確保するための意識を高く持ち、食品表示法の新制度に合わせて業務を行っていく。利用者職員一丸となりさらなる事故防止に取り組み、製造部・販売部・配膳部、軽作業グループとの連携をとり、管理体制の強化を図る。

月に一度利用者対象にミーティングを開き、衛生や接客マナー等の話し合い、目標をあげ働く意欲を高める。

また、就労を目指す人が仕事に対する姿勢や技術を身につけられるよう支援していく。必要に応じて、各グループとの連携をとり軽作業も行っていく。

○販売活動 売上目標=2250 万円

・SBB (GH 向けの土曜日のランチパック)	580 万円
・外部販売・移動販売車 (新規含め)	480 万円
・保育園・学童・小学校・高齢者施設 (新規含め)	450 万円
・プラスチック	240 万円
・ビバホーム、東急ストア	120 万円
・定期パン	120 万円
・ももちゃん	120 万円
・その他注文等	100 万円
・南葛 SC 関係	40 万円

○配膳事業 売上目標=146 万円

◆社会体験：作業の参考になるような外出（製造部・販売部・配膳部）を企画し働く意欲につなげていく。

また作業に関する知識や健康に対する知識を習得するため外部の講師を招き講座を開く。

(2) 生活介護事業所

【支援方針】

奥戸福祉館は「働く場」であることを基礎に利用者の個性、ニーズや思いを大切に支援していく。

日々の活動の中で利用者自身が小さな目標を持ち達成できるように、また働くことに喜びを感じることが出来るよう支援していく。

「働く場」の意識を高めることや技術向上のために教養講座や学習外出、講師を招き学習していく。また能力に合わせた作業班、活動時間内容の見直しなど作業に集中し効率上がる環境作りを行う。

高齢化や個々の状況にあわせ余暇や機能訓練、創作活動なども取り入れて活動にメリハリをつけてより働くことに集中できるようにつとめていく。

支援については体調管理や日々の様子を注視し家庭や寮と連携をとり適宜ケース会議をひらいていく。少しでも生きがいを持ち安らいだ生活が送れるようにしていく。

作業面では清掃、洗濯事業を柱としていく。そして作業時間に練習を行い方法の見直しやマニュアル化を行う。また寮で使用するシーツ、リネンの洗濯が行えるような取り組みを行い外部の営業も視野にいれていく。

ウエス作業は仕入れ値を減らす為に仕入れ先や地域の回収方法を見直して利益率をあげていく。

外部へのチラシ配りを中心に積極的に地域にでていき、パンのチラシや配達など食品グループと連携をとって売り上げ向上をめざしていく。

工賃向上を目指すために軽作業は受託作業を整理し利用者の適性にあった新規事業の検討と開拓をコンサルタントを導入して行う。

○売り上げ目標：380万

①受託作業（300万）

・清掃&洗濯：200万

・シラコ：25万 ・藤和：15万 ・チラシ：20万

・かわら版：20万 ・その他：20万

②自主生産（80万）

・ウエス：50万 ・アルミ缶：10万 ・お茶：20万

○作業外活動

①体力づくり ・ラジオ体操の実施（毎日）

- ・体力の維持、ストレスを解消し健康的な生活がおくれるよう身体状況に合わせた機能訓練やウォーキングを兼ねたチラシ配りや地域清掃を行う。
- ②教養講座
 - ・利用者話し合い（月1回）
 - ・教養講座（年3回 衛生面・健康面講座 利用者心得に沿った講座）
 - ・学習外出（清掃、ウエス他）
- ③余暇
 - ・花見、新春外出、高齢利用者対象のシルバー外出などの行事や創作活動、園芸を行う。

2 地域生活支援

将来の生活の場の選択肢を拓げるため、家庭から離れた生活を体験できるよう希望する利用者に対しグループホームやケアホームの見学・短期訓練を実施し、自立への意識を高めていく。

社会体験として、利用者の要望をとり作業の参考になるような外出を企画し、働く意欲につなげていく。また、作業に関する知識や健康に対する知識を習得するため外部の講師を招き講座等を開いていく。

3 余暇支援

利用者の希望を聞きながら、行ってみたい場所、関心が高い場所の外出の企画を行う。作業グループ以外の利用者や職員との交流や、普段の日中活動のリフレッシュも兼ねる時間とすることを目的とする。

企画は利用者の希望をきき、10人前後のグループを作り、利用者と職員で話し合いながら進めていく。お知らせ等も利用者主体で作成し、職員はそのサポートを行う。

4 就労支援

【就労援助】

就労援助

就労を希望する利用者に対し、その人の年齢や能力、適正を考慮しながら最適な職場を探していく。そのための情報収集を積極的に行い、長期的・安定的な職場に勤められるように支援する。場合によってはジョブコーチを利用する。また、一般就労に適した候補者も模索していく。

マクドナルドで短時間就労している利用者について、安定して雇用してもらえるように本人の様子も聞きながら必要に応じて職場訪問をする。

一昨年度に西水元福祉館の清掃業務で就労した利用者について、必要に応じて職場訪問を行い本人の様子を把握し、引き続きグループホームとも連絡を取り安定した就労を目指す。

昨年度のぞみ発達クリニックに就労した利用者について、定期的に職場訪問を行い、就

労が定着するように支援する。グループホームとも連携し安定した就労を目指す。

葛飾区就労支援事業（葛飾区補助事業）

葛飾区障害者就労支援センター等と連携し、情報交換の機会を設ける。

実習希望者には区役所実習、喫茶ミモザ、カフェ CHA!CHA!CHA!など社会的経験が出来る場を提供する。必要に応じて企業実習、就労情報の提供、企業見学を行う。

5 保健

【方針】

利用者の健康維持の為、日々の健康状態を観察し職員、保護者、医師との連絡を密にし、健康状態を把握する。また生活習慣病、疾病の予防、通院加療の判断や職員、保護者へのアドバイス等を行う。

(1) 健康管理

- ① 内科相談日（嘱託医） 月1回 嘱託医による診察（血圧測定）
- ② 健康診断 年1回 肥満度・血圧・検尿（糖・蛋白）・心電図・胸部X線、
内科問診・血液検査（肝機能・腎機能・脂質・貧血・血糖）
- ③ 歯科検診 年2回（6月・1月） 歯磨き指導 年2回（9月・2月）
- ④ 体重測定・血圧測定 毎月25日

(2) 嘱託医との連携

嘱託医との協力関係を維持し、毎月の内科相談日にて健康相談や、通院加療の判断や連絡調整をする。

(3) 衛生管理

0-157、ノロウイルス、インフルエンザ等、感染のおそれのあるものについては発生時期に注意を促し感染の予防に努める。

- ① うがい・手洗い・手指消毒の励行
- ② 細菌検査（検便）：利用者・職員は年1回、パン従事者は4回・給食従事者は毎月行う。

(4) 職員健康管理

職員の健康診断 年1回（11月～12月）

[項目] 身長・体重・血圧・視力・聴力・検尿・心電図・胸部X線
胃のレントゲン・血液検査（肝機能・腎機能・脂質・貧血・血糖）
メタボリックシンドローム *節目対象者は人間ドックを行う。

(5) 年間予定

4月	内科相談 (全員)	細菌検査（給食）	10月	内科相談	細菌検査（給食）
----	--------------	----------	-----	------	----------

5月	内科相談	細菌検査（パンの人を除く利用者・職員全員）	11月	内科相談	細菌検査（給食）
6月	内科検診 歯科検診	細菌検査（パン・給食）	12月	内科相談	細菌検査（パン・給食）
7月	内科相談 利用者健康診断	細菌検査（給食）	1月	内科相談 歯科検診	細菌検査（給食）
8月	内科相談	細菌検査（給食）	2月	内科相談 歯磨き指導	細菌検査（給食）
9月	内科相談 歯磨き指導	細菌検査（パン・給食）	3月	内科相談	細菌検査（パン・給食）

6 行事

(1) 館内行事

みんなの集まり	毎月第一出勤日（金曜日を除く）
利用者自治会行事	適時

(2) 全館行事

実施月日	行事名	内容目的など
4月4日	還暦を祝う会	
7月21日～22日	宿泊旅行	利用者慰労と見聞を広める
10月30日	やまもも祭	地域交流
12月16日	忘年会	総会・懇親会
1月10日	成人・還暦を祝う会	

7 地域交流

【地域交流】

近隣の学校や町会および地域の方との交流を通して、利用者一人ひとりが地域の一員であり、自分たちの暮らしている地域を大切にしていきたいという意識を持つように働きかける。

普段の作業風景・やまもも祭での活動の見学、パン教室などに参加してもらうなど交流や連携をとることで障害者に対する先入観や偏見を取り除き、理解を深めてもらうような取り組みを行う。

【ボランティアの受け入れ】

ボランティアの受け入れを通して、地域の方々に福祉施設に対する理解を深めてもらう。

また、他者との関わりにより、利用者の社会交流を促進する。ボランティアの受け入れの際には注意事項を提示し、相互に良い学びとなるよう、ボランティアの育成にも努めていく。

8 利用者自治会

福祉館の利用者が楽しく過ごせるように、利用者全体の代表として主体的に意見交換が出来るようにしていく。企画運営をしていくなかで、他者と協力して物事をやり遂げる力を身に付けることを目的とする。

今年度は自治会選挙を行う。一人一人が自治会役員に選ばれた自覚を持ち、割り振られた役割を責任を持って行えるよう職員は側面から支援する。

9 家族、寮職員との交流

福祉館の事業に理解と協力を得るため家庭や寮との連携を強化する。

- ①必要に応じて家族連絡会の開催
- ②連絡帳を活用した家庭や寮との連携～必要に応じ電話確認実施
- ③家庭及び寮訪問～必要に応じてその都度実施
- ④個別面談及び合同処遇会議～必要に応じその都度実施

10 広報活動

奥戸福祉館全体の活動を伝える家庭向けの通信を年4回発行する。

原町かわら版は法人の広報委員と協力して発行していく。ホームページ、パン工房ももちゃんのブログ、フェイスブックを定期的に更新していく。

Ⅲ 管理運営

1 組織体制

就労継続B型事業所 定員 30名
生活介護事業所 定員 30名

2 会議

職員会議 月1回：第3水曜日 14時30分～ 全職員
事業・管理会議 月2回：第1・第3火曜日 館長 副館長 事務主任
主任会議 月1回：第2金曜日 及び館長招集時 館長・副館長・主任・
事務主任・各リーダー
各事業所会議 月1回及び必要に応じて

3 全館行事

日時・内容
4月4日：還暦を祝う会
7月21日～22日：宿泊旅行
10月30日：地域交流事業（やまもも祭）
12月16日：忘年会
1月10日：成人還暦を祝う会

4 委員会等

委員会名
広報委員会
工賃支給検討委員会
防災安全委員会
リスクマネジメント委員会

販売イベント調整担当
地域交流
利用者自治会援助
ボランティア

会議録		余暇支援	
-----	--	------	--

送迎・車両担当			
葛飾区就労支援担当			
セクハラ・パワハラ相談委員			
法人衛生委員		法人 PC 委員会	
法人広報委員		ホームページ・ブログ担当委員	
苦情受付担当		苦情解決責任者	
事業点検・改善委員		法人防災委員	
葛飾区自主生産品販売協議会			
葛飾福祉を学ぶ会			

5 研修

(1) 外部研修

- ・必要な研修に職員を派遣する。

6 防災安全管理

利用者が災害弱者であることを十分認識し、日常の安全管理には十分注意し、万一の災害の発生に備え、備品の点検、被害防止のため万全を期する。

- (1) 消防計画に基づき予防対策、消防対策、震災対策を講じる。
- (2) 非常災害発生を想定して、定期的に防災・避難訓練等を実施する。

実施月	種別	備考
4月	防災教育	消防計画、自衛消防隊について（職員）
5月	避難訓練	通報、消火訓練
7月	震災訓練	震災想定による避難訓練
9月	避難訓練	通報、消火、避難訓練
1月	震災訓練	震災想定による避難訓練
2月	防災教育	消防署による映画の上映と話
3月	総合訓練	

- (3) 本田消防署の協力を得て、災害防止の意識高揚を計るため、利用者及び職員に対して防災教育を行う。
- (4) 職員間で安全経路の確認を行う。
- (5) 防火管理者資格取得の推進。
- (6) 葛飾区地域防災無線の定期通信訓練の実施（毎月第3水曜日）。
- (7) 災害伝言ダイヤルの実施（毎月1日、15日の平日）。
- (8) 火気施設点検の確実な実施。
- (9) 台風及び降雪時の緊急連絡対応。

7 苦情解決

利用者及び家族等から苦情や意見が出やすいような環境を整備し、本制度が有効に活用されるよう努め、サービス内容の充実と改善を図る。